

公立高等学校入試制度の一例

内容	県名 1 徳島県	県名 2 愛知県	県名 3 京都府	県名 4 福岡県	県名 5 奈良県	県名 6 大分県
主な選抜の回数	3回	3回	3回 ↓ 2回 (矢印: R9年度入試から前期・中期を前期に一本化する予定)	3回	2回 (R8年度入試から特色選抜と一般選抜を一本化)	2回 (R8年度入試から第二次選抜を廃止し、第一次選抜で複数校志願制度を導入)
選抜の名称 (●印: 1つの選抜で複数校への出願可)	育成・連携型選抜 一般選抜 第2次募集選抜	推薦・特色選抜 ●一般選抜 第2次選抜	前期選抜 ●中期選抜 後期選抜 ↓ ●前期選抜 後期選抜	特色化選抜・推薦入学 ●一般選抜 補充募集	●一次選抜 二次選抜	推薦入学者選抜 ●第一次入学者選抜
●(複数校への出願が可能な)選抜の概要						
●の選抜で出願できる校数(複数校出願)	制度なし (ただし、すべての選抜において、出願校に複数学科・類がある場合は、最大6学科・類まで併願可で、体育科と総合学科または普通科と芸術科は併願不可)	2校 (第1志望校、第2志望校)	3校 ↓ 4校 (第1志望校第1順位、第1志望校第2順位、第2志望校)	2校 (第1志望、県指定校全日制第2志望)	2校 (第1希望校、第2希望校)	2校 (第一志願校、※第二志願校) ※全日制普通科は出身中学校の所在地による制限あり
複数校志願するための出願回数		1回 同時に2校	1回 同時に3校 ↓ 同時に4校	1回 同時に2校 定時制+全日制は不可 市立・組合立+全日制は不可	2回 第一出願期間で欠員のあった学校・学科へ第二出願期間に出願可能	2回 第一志願校の合格発表後、欠員のあった学校・学科へ第二志願校出願
志望順位の扱い		2校同等型	第1志望校優先型 (欠員があれば第2志望判定)	第1志望優先型 (欠員があれば第2志望判定)	第1希望校優先型	第一志願校優先型
複数校の判定方法		・各校で総合的に校内順位を決定 ・県教委が校内順位を基に、コンピュータ処理で、合格候補者名簿を作成 ・各校が合格候補者名簿に基づいて合格者を決定	・定員の90%以内を第1志望第1順位で判定 ・残りの合格枠で第1志望第2順位を含めて判定 ・それでも定員に満たない場合は第2志望を判定	・第1志望で不合格かつ第2志望校に欠員がある場合のみ選考	・第一出願期間出願者で合否判定 ・その後、募集人員に満たなかった学科・コースにおいて、第二出願期間出願者で合否を判定	・第一志願校の合格発表 ・その後、欠員のあった学校・学科へ第二志願校出願 ・第二志願校出願者で合否を判定
Web出願	×	○	× ↓ ○	○	○	○
出題方式	記述式	マークシート方式	記述式	記述式	記述式 (R7年度入試時点)	記述式 (R7年度入試時点)
国語の問題の一部に作文(自分の考え方等)	あり	なし	なし	あり	あり (R7年度入試時点)	あり (R7年度入試時点)
面接	・全ての高校・学科で実施	・一部の高校・学科で実施	・一部の定時制で実施	・長期欠席者および定時制で必要に応じて実施	・全日制普通科(特色あるコースを除く)なし ・全日制上記以外は一部の高校・学科で実施 ・定時制は実施	・第一志願では一部の高校・学科で実施 ・第二志願では必要に応じて実施